⑶　第１次試験
①　試験日　平成30年５月12日（土）
②　試験場　東京都
③　試験内容
ａ　基礎能力試験（多肢選択式）
ｂ　専門試験（憲法、行政法、民法、刑法、政治学、行政学、経済学、財政学、社会政策、国際関係、英語）（多肢選択式）
④　合格者発表　平成30年５月18日（金）
衆議院第二別館前掲示板において発表するほか、衆議院ホームページでも知らせる。また、合格者については郵便で通知する。
⑷　第２次試験（第１次試験の合格者に対して行う。）
①　試験日　平成30年６月９日（土）
②　試験場　東京都
③　試験内容　筆記試験（論文）イ憲法（１題）ロ行政法（１題）、政治学（１題）、経済学（１題）（イは必須、ロのうち１科目を選択）
④　合格者発表　平成30年７月６日（金）
衆議院第二別館前掲示板において発表するほか、衆議院ホームページでも知らせる。また、合格者については郵便で通知する。
⑸　第３次試験（第２次試験の合格者に対して行う。）
①　試験日　平成30年８月20日（月）から８月24日（金）及び８月27日（月）から８月28日（火）のうち指定する日※国会情勢により変更する場合あり
②　試験場　衆議院事務局
③　試験内容　個別面接試験
⑹　最終合格者発表　９月上旬頃、合否を各人あてに郵便で通知する。

７　一般職試験（高卒程度試験）
⑴　給与　この試験に合格して採用された場合には、原則として、行政職給料表㈠の１級５号給が支給される。このほか、国会職員の給与等に関する規程の定めるところにより、諸手当が支給される。
⑵　受験資格　平成９年４月２日から平成13年４月１日までに生まれた者
ただし、日本国籍を有しない者及び国会職員法第二条の規定により国会職員となることができない者は、受験することができない。
⑶　第１次試験
①　試験日　平成30年９月１日（土）
②　試験場　東京都
③　試験内容
ａ　基礎能力試験（多肢選択式）
ｂ　作文　（第１次試験合格者は、基礎能力試験（多肢選択式）の成績で決定し、作文試験は、第１次試験合格者を対象に評定した上で、最終合格者決定に反映する。）
④　合格者発表　平成30年９月７日（金）
衆議院第二別館前掲示板において発表するほか、衆議院ホームページでも知らせる。また、合格者については郵送で通知する。
⑷　第２次試験（第１次試験の合格者に対して行う。）
①　試験日　平成30年９月18日（火）から９月21日（金）のうち指定する日※国会情勢により変更する場合あり
②　試験場　衆議院事務局
③　試験内容　個別面接試験
⑸　最終合格者発表　10月中旬頃、合否を各人あてに郵便で通知する。

８　衛視試験
⑴　給与　この試験に合格して採用された場合には、原則として、議院警察職給料表の１級３号給が支給される。このほか、国会職員の給与等に関する規程の定めるところにより、諸手当が支給される。
⑵　受験資格　平成８年４月２日から平成13年４月１日までに生まれた者で次に掲げる者
ａ　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年３月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
ｂ　衆議院事務局がａに掲げる者と同等の資格があると認める者
ただし、日本国籍を有しない者及び国会職員法第二条の規定により国会職員となることができない者は、受験することができない。
⑶　第１次試験
①　試験日　平成30年９月１日（土）
②　試験場　東京都
③　試験内容　基礎能力試験（多肢選択式）
④　合格者発表　平成30年９月７日（金）
衆議院第二別館前掲示板において発表するほか、衆議院ホームページでも知らせる。また、合格者については郵便で通知する。
⑸　柔道又は剣道の資格経歴の考慮について
衛視試験の第１次試験の合否判定に際して、柔道又は剣道の段位（２段以上）並びに日本選手権、国民体育大会、大学選手権、全国高校総合体育大会及びそれに準ずる大会の出場経験・成績を考慮することとする。（基礎能力試験において基準点に達した受験者のみ）
⑷　第２次試験（第１次試験の合格者に対して行う。）
①　試験日　平成30年９月21日（金）及び９月25日（火）から９月26日（水）のうち指定する２日※国会情勢により変更する場合あり
②　試験場　衆議院事務局
③　試験内容
ａ　身体検査
ｂ　体力検査
ｃ　個別面接試験
なお、検査結果において、身長160cm（女子154cm）以上、裸眼視力0.6以上（又は矯正視力1.0以上）、色覚及び聴力が衛視としての職務の執行に支障がないこと、衛視としての職務の執行に支障のある疾患がないことのいずれかを満たさない場合、それを理由に不合格とすることがある。
⑸　最終合格者発表　10月中旬頃、合否を各人あてに郵便で通知する。

９　受験手続及び問合せ先
⑴　受験申込書の請求　受験申込書及び試験案内は、衆議院事務局庶務部人事課任用係で交付する。
郵便で請求する場合は、請求用封筒の表に「総合職（大卒）請求」、「一般職（大卒）請求」、「一般職（高卒）請求」又は「衛視請求」のいずれかを朱書し、返信用封筒として120円切手を貼った角型２号（33.2cm×24.0cm）程度の封筒を同封すること。
⑵　提出書類
○　総合職試験（大卒程度試験）、一般職試験（大卒程度試験）及び一般職試験（高卒程度試験）受験申込書
○　衛視試験
ａ　受験申込書
ｂ　柔道又は剣道の資格経歴の考慮対象となる資格経歴がある場合、当該資格経歴を証明する書類の写し
⑶　受付期間
○　総合職試験（大卒程度試験）平成30年３月30日（金）から４月９日（月）まで（郵送の場合は４月９日消印有効。）
○　一般職試験（大卒程度試験）平成30年３月30日（金）から４月９日（月）まで（郵送の場合は４月９日消印有効。）
○　一般職試験（高卒程度試験）平成30年７月17日（火）から７月24日（火）まで（郵送の場合は７月24日消印有効。）
○　衛視試験　平成30年７月17日（火）から７月24日（火）まで（郵送の場合は７月24日消印有効。）
受付時間は、土曜日、日曜日を除く平日午前10時から午後５時まで。郵送での受験申込みの場合は、特定記録郵便とし、封筒の表に「総合職（大卒）申込」、「一般職（大卒）申込」、「一般職（高卒）申込」又は「衛視申込」と朱書すること。
⑷　併願受験　一般職試験（高卒程度試験）と衛視試験は併願することができない。
⑸　提出先及び問合せ先　〒100－8960　東京都千代田区永田町１－７－１　衆議院事務局庶務部人事課任用係（衆議院第二別館）　電話03－3581－6866
⑹　その他　試験の詳細については、別に作成している試験案内、衆議院のホームページ等を参照すること。

平成30年度国立国会図書館職員採用試験公告

平成30年度国立国会図書館職員採用試験について、次のとおり告知する。
平成30年３月１日　　国立国会図書館

１　試験の種類
⑴　国立国会図書館職員採用総合職試験
⑵　国立国会図書館職員採用一般職試験（大卒程度試験）